

内容(予は要予約)	とき	対象(対は対象)
親子健康手帳交付	7日(木) 26日(火)	10:00 集合 妊婦
予パパママ教室(1回目) ※定員10組	12日(火)	10:30受付~11:30終了 主に妊娠6か月ごろまでの初妊婦とそのパートナー
予パパママ教室(2回目) ※定員 平日7組、 土日10組	10日(日) 27日(水)	9:15受付~11:00終了 13:15受付~15:00終了 主に妊娠7か月以降の初妊婦とその夫 ※3日前までに予約がない場合は中止
予妊婦訪問	訪問は予約制です。(希望者は保健センターへ連絡してください)	妊婦(訪問は妊娠中1回)
こんにちは赤ちゃん訪問	3~4か月児健診受診前	すべての赤ちゃんとその保護者
のびのび 南児童館 計測日 保健センター ※1 青少年児童センター	6日(水) 15日(金) 29日(金)	10:00~10:30受付 未就園児※1医師の診察はありません 持親子(母子)健康手帳・乳児の場合はバスタオル
予離乳食教室	14日(木)	10:00~11:15 主に第1子(4~5か月)をもつ保護者(乳児同伴可)
予妊産婦歯科健康診査	予約してから、市内委託医療機関で受診してください	妊婦と産後1年未満の産婦
予特定健康診査がん検診 (肺・胃・大腸・前立腺)	1日(金)、4日(月)、11日(月)、 29日(金)	市国民健康保険加入者で40~74歳の人(検診によって対象制限あり)
予集団がん検診 (肺・胃・大腸・前立腺)	6日(水)、22日(金)、28日(木)	市国民健康保険加入者以外で40~74歳の人(検診によって対象制限あり)
予個別特定健康診査 後期高齢者医療健康診査	10月31日までに市内委託医療機関で受診してください。 ※胃内視鏡検診のみ、一部医療機関で12月まで受診可。	市国民健康保険加入者で40~74歳の人 後期高齢者医療制度加入者
予個別がん検診※ (肺・胃・大腸・前立腺)	2月29日までに市内委託医療機関で受診してください	40歳以上の人(検診によって対象制限あり)
予個別子宮頸がん検診	2月29日までに市内委託医療機関で受診してください	20歳以上の西暦奇数年生まれの女性(昨年度受診していない西暦偶数年生まれの人も可)
予子宮頸・乳がん検診	25日(月)	40歳以上の西暦奇数年生まれの女性(昨年度受診していない西暦偶数年生まれの人も可)
予乳がん検診	8日(金)	40歳以上の西暦偶数年生まれの人も可)
予個別乳がん検診	2月29日までに市内委託医療機関で受診してください	20歳、30歳、35歳、40歳、45歳、50歳、55歳、60歳、65歳、70歳、75歳、80歳
予歯周病検診	1月31日までに市内委託歯科医院で受診してください	20歳、30歳、35歳、40歳、45歳、50歳、55歳、60歳、65歳、70歳、75歳、80歳
予39歳以下・ 子宮頸がん検診	20日(水)	20~39歳で西暦奇数年生まれの女性(昨年度受診していない西暦偶数年生まれの人も可)
予ロタウイルス	対 1価ワクチン 出生6~24週 5価ワクチン 出生6~32週	
予B型肝炎	対 生後1歳未満	
予ヒブ、小児用肺炎球菌	対 生後2~60月に至るまで	
予4種混合、不活化単独ポリオ	対 生後2~90月未満	
予BCG	対 生後1歳未満	
予麻しん・風しん混合、 麻しん単独・風しん単独	対 第1期 生後12~24月未満 第2期 小学校入学前の1年間	
予水痘	対 生後12~36月未満	
予日本脳炎	対 1期 生後6~90月未満 2期 9~13歳未満 救済制度により対象以外で接種可能な場合あり	
予二種混合	対 11~13歳未満	
予子宮頸がんワクチン ●2価・4価・9価	対 小学6年生~高校1年生の女子 救済制度により対象以外で接種可能な場合あり	
予高齢者肺炎球菌ワクチン	対 65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳 (65歳になる方以外は経過措置)	
予新型コロナワクチン ※高齢者等限定の接種は 9月19日(火)で終了。	対 生後6か月以上の人 他 9月20日(水)以降、XBB対応ワクチンの追加接種を1回受けることができます。接種券は、9月中旬から順次送付予定です。接種券が届かない場合は、健康推進課までお問い合わせください。	

その他お知らせ

納期限(10月2日)		
税目	納期	問合せ先
国民健康保険税	第3期	収納課 ☎56-0610
後期高齢者医療保険料	第3期	保険医療課 ☎56-0617

口座振替の人は、納期限の日引き落とししますので、残高を確認してください。

日曜・祝日の受診は	
東名古屋医師会休日急病診療所 ☎0561-73-7555	
診療日時	日曜・祝日・年末年始 9:00~16:30 (昼休憩1時間あり)
診療科目	内科・小児科
所在地	日進市蟹甲町中島22

急な病気・ケガの時は	
救急医療情報センター ☎0561-82-1133	
24時間365日対応可。症状に応じてその時診療できる最寄りの医療機関を案内。	

愛知医科大学病院 時間外診療	
救急でかかりつけ医が開いていない場合、診療を受けることができます。まず、電話で相談してください。 ☎0561-62-3311(代表)	
なお、時間内、時間外問わず、紹介状なしで受診する等の場合、選定療養費が必要になることがあります。詳しくは愛知医科大学病院へ問い合わせください。	

まちの保健師	
保健師がさまざまな場所に出向き、健康相談をお受けします。詳細は市HPへ。	



ドクターからあなたへ 妊娠と脱水症

図書館通おかもとマタニティークリニック 岡本 俊充

妊娠中、特に妊娠28週以降の後期には体に多量の水分を蓄え、血管内は水血症、俗にいう「サラサラ血」となります。血管は拡張し血液は希釈され相対的貧血を示すようになります。妊婦の立眩みめまいは、このことが原因です。これは胎児の成長を促すのに必要な生理的変化です。ところが、妊婦が脱水症になると胎児に大きなデメリットとなる場合があります。それは、血液が「サラサラ血」から「ドロドロ血」に変化し、胎児頻脈・羊水過少・発育不全を引き起こすことがあります。特に、感染症を合併すると脱水は増悪悪化し、38度以上の発熱が3日以上続くと早産徴候が出現します。

この夏は、コロナの自粛生活からの免疫低下による上気道感染症の流行が心配されます。発熱時は、安静・水分補給・解熱剤(カロナール)、特に水分補給は重要です。スポーツドリンク・経口補水液を必ず加えてください。妊婦の水分補給は「むくみ」の原因となることがありますが、感染症の症状が落ち着くまでは水分補給を続けてください。

妊婦の脱水症・熱中症は胎児にとって大敵です。日頃から水分補給に心掛けてください。Na成分が含まれる経口補水液を加えることをお勧めします。



【広げよう!! 長久手市ゼロカーボンシティ宣言】カーボンニュートラル実現のため、今年4月から市職員が自主的に公用車や通勤車両の使用を控える取組を開始し、8月までに1トン以上のCO₂を削減しました。 問 環境課 ☎56-0612